



物流・供給網の分断リスク、対策は万全ですか？

～BCP（事業継続計画：Business Continuity Plan）の取り組み～



BCPとは？

BCPとは、企業が自然災害、大火災、感染症等の緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画です。

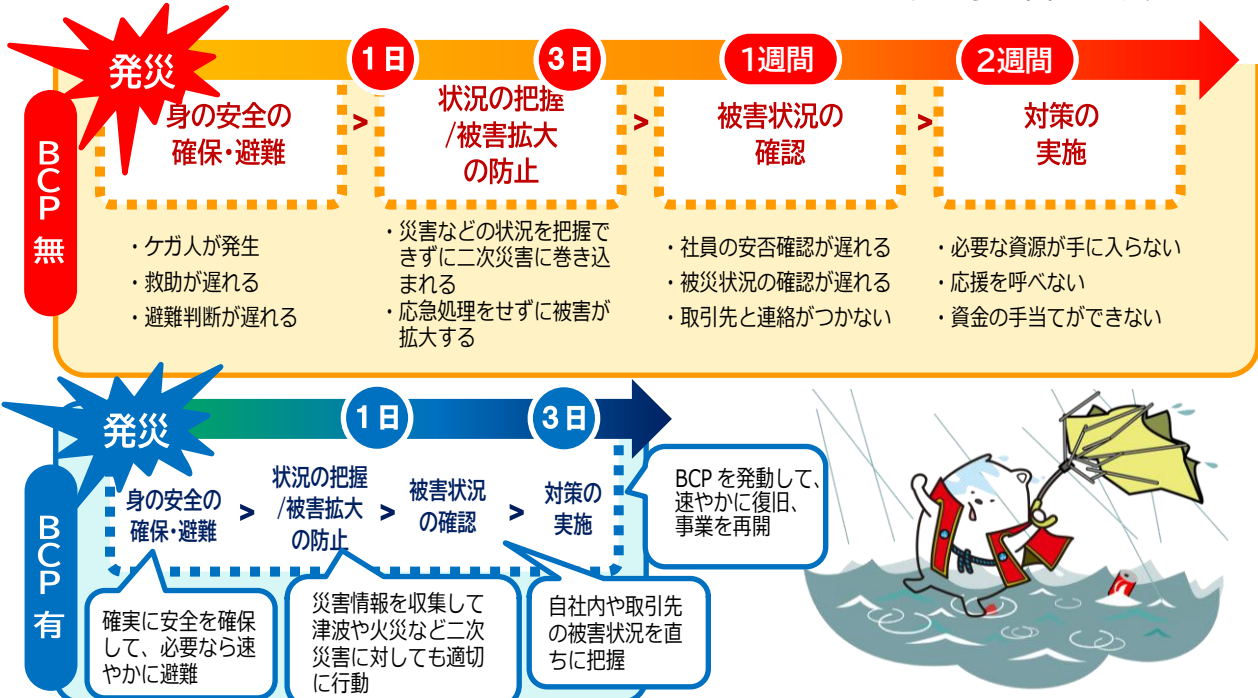
災害時等に人・モノ・資金・情報が足りなくなるという状況の中で、短期間で対応できるようにするためには、あらかじめ何が起こりうるかを考え、その時行うべきことを計画として定め、実際にその計画が実行できるように訓練等を行い、備えることが重要です。



なぜ必要？

近年、日本各地で大規模災害が頻発しており、2020年熊本豪雨、2023年台風7号、2024年能登半島地震が発生しました。また、今年8月には九州地方中心に記録的な豪雨もあり、浸水、冠水、土砂崩れなどの多くの被害がありました。東海地方においては、南海トラフ地震が警戒されており、政府（中央防災会議）によると、今後30年以内に発生する確率が80%程度とされ、最大で死者約29.8万人、経済被害約270兆円と試算されています。以下<図1>のとおり、BCPを策定している場合としていない場合では、被災によるダメージが異なるばかりか、事業再開までにかかる時間が大きく異なってきます。

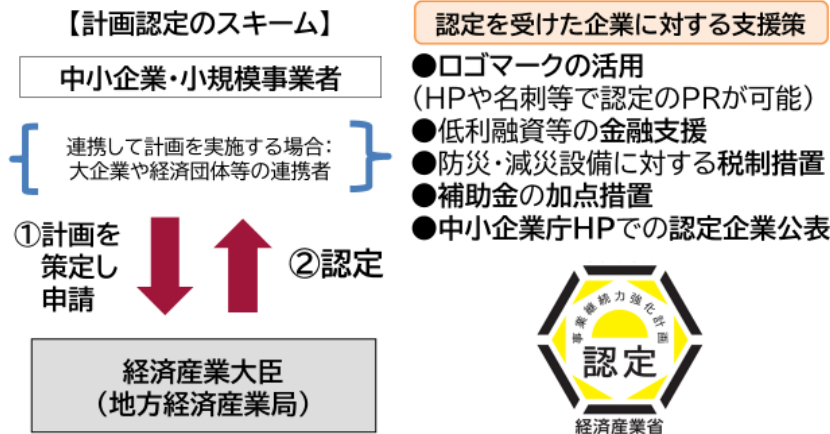
<図1>発生からの時間経過と実施すべき対応



出所) 中小企業庁 中小企業 BCP 支援ガイドブック をもとに作成

## BCPのはじめの一步「事業継続力強化計画」から取り組んでみませんか？

「事業継続力強化計画」とは、防災・減災対策の第一歩として現在及び将来的に行う災害対策などの必要な項目を盛り込んだ計画です。認定を受けると防災・減災設備に対する税制措置、補助金の加点措置等を受けることができます。



出所）中小企業庁 中小機構 事業継続力強化計画認定制度の概要

## 安否確認と情報共有 — 「ぎふしん Big Advance」の活用

避難完了だぞう

災害時に最も重要なのは、人命の安全確保です。当金庫が提供する「ぎふしん Big Advance」には、災害発生時に従業員の安否確認をできる機能があります。

安心だっ！

スマートフォンから回答ができ、管理者はリアルタイムで状況を把握することが可能です。平時からの活用と訓練で、有事の対応力を高めることができます。



「ぎふしん Big Advance」とは  
全国の金融機関が連携し、地域の中小企業の成長を支援するプラットフォームです。

詳細はこちら



## BCPのご相談は岐阜信用金庫へ



災害は「いつか」ではなく「いつ起きてもおかしくない」ものです。BCPは事業の存続、社員やその家族の安全、そしてお客さまとの信頼を守るための経営戦略です。まずは事業継続力強化計画や安否確認体制など、小さな一歩から始めてみてはいかがでしょうか。ご興味のある方は是非、お取引先店舗までご相談ください。